

今週（10月10日から10月13日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、全銀ネットのシステム障害を受け、一部の参加者に様子見姿勢が見られたものの、復旧後は積み最終日に向けた調整のビッドが入り強含む展開となった。

無担保コールO/Nは、邦銀業態からの調達を中心に▲0.087～▲0.008%のレンジでの出会いとなった。加重平均レートは、週初10日(火)は、連休による4日積み要因の剥落や積みの進捗に目途が付きつつある先もあったため、ビッド水準が低下し▲0.03%となった。11日(水)は、前日の水準を引継ぎつつも、全銀ネットのシステム障害による影響から、一部取引を見送る先も見られた事から、▲0.033%に低下した。12日(木)は、システム障害が解消する見込みとなったため、ビッドサイドには取引を再開する先も加わった事から、▲0.029まで上昇した。13日(金)は、積み最終日となったが、調達余力を残していた先も多く、取引開始直後からテイクン地合いの展開となった。

日銀当座預金残高は、538兆円前半で始まり、12日(木)までは概ね横這い圏での推移となったが、13日(金)は年金定時払いにより、545兆円近辺まで増加する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね▲0.15～▲0.095%程度での推移となった。SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが13日(金)の入札までやや軟調に推移した。その他のゾーンの取引は閑散となった。

11日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円で実施され、弱い結果となった。

13日に実施された3M物入札は、落ち着いた結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりと推移する展開となった。

●CP市場

今週のCP市場は、営業日日数が少なかったものの鉄鋼、石油、鉱業等からまとまった発行があり、週間の発行総額1兆円程度に対して償還総額4.100億円程度となり、発行超のマーケットとなった。

発行残高は、24兆円台後半から緩やかな拡大が続き、足元では25兆円台となった。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%前後での出会いが中心であったが、期間が長い案件については一部の投資家に慎重な姿勢がみられ、引き続きレート水準にばらつきがみられた。

CP等買入オペは、12日(木)に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分落札レート0.000%、平均落札レート+0.011%と前回比（按分落札レート0.000%・平均落札レート+0.016%）で按分は横這い、平均は低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/9 (月)						
10/10 (火)	31,746.53	0.770	148.55	△ 0.030	△ 0.107	5,382,100
10/11 (水)	31,936.51	0.770	148.60	△ 0.033	△ 0.109	5,391,000
10/12 (木)	32,494.66	0.750	149.14	△ 0.029	△ 0.146	5,372,200
10/13 (金)	32,315.99	0.758	149.83	△ 0.019	△ 0.122	5,454,700

来週（10月16日から10月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/16 (月)					
10/17 (火)	8月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 8月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	20Y 12,000億円 10/18発行			9月の米小売売上高 9月の米鉱工業生産・設備稼働率 8月の米企業在庫
10/18 (水)					9月の米住宅着工件数 米ページブック 9月のユーロ圏消費者物価指数改定値 9月の英消費者物価指数
10/19 (木)	9月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 35,000億円 10/20発行	流動性供給 5,000億円 10/20発行		9月の米中古住宅販売
10/20 (金)	9月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 56,000億円 10/23発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/16 (月)	800	900	1,700	CP買入 国債補完	▲ 100 37,200		37,100	38,800	TB3M発行▲56,000 償還58,000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3,400 個人向け 償還2,800 交付税借入 ▲13,000 期日13,000
10/17 (火)	1,000	2,000	3,000	CP買入		4,000	4,000	7,000	
10/18 (水)	▲ 500	▲ 12,000	▲ 12,500				0	▲ 12,500	20Y発行▲12,000
10/19 (木)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
10/20 (金)	▲ 1,000	1,000	0				0	0	TB1Y発行▲35,000 償還34,500 流動性供給発行▲5,000 エネルギー対策借入▲6,200 期日6,500
週間合計	▲ 700	▲ 6,100	▲ 6,800	—	37,100	4,000	41,100	34,300	

10/16は日銀予想、10/17以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新しい積み期間に入る事から、改めてレート水準を探る展開となるため、オファー・ビッド双方の動向が注目される。債券レポ GC T/N物は、▲0.15～▲0.09%程度のレンジでの取引が予想される。短国市場は、19日に1Y物、20日に3M物の入札実施が予定されている。また、17日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、10月中旬に入り、事業法人の発行動向が注目される。

主要なイベントは、国内では19日に9月の貿易統計、20日に9月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、17日に9月の米小売売上高、18日に9月のユーロ圏消費者物価指数改定値、9月の英消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入